

令和元年度（2019年度） 明石市地域自立支援協議会

しごと部会 リポート Vol. 28 令和2年（2020年）3月25日発行

発行元：明石市地域自立支援協議会 しごと部会 事務局（明石市基幹相談支援センター）

住所：明石市貴崎1丁目5番13号（明石市立総合福祉センター 1階）
電話番号：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134

【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています

はたらくなかまのつどい 2019

「気軽に抹茶」そしておしゃべり

今年度の「はたらくなかまのつどい」を2月1日(土)午後、アスパア明石にて開催しました。当事者17名・スタッフ8名が参加しました。

今年度の「はたらくなかま」のテーマの1つは、「みんなで教養を学ぶ」でした。教養とは、学問・知識をしっかりと身につけることによって養われる心の豊かさのことですが、今回はそのきっかけづくりとなる会になればとの思いからスタートしました。

会場はアスパア明石の和室でした。参加者のみなさんは、普段と違う雰囲気落ち着かなさを感じるとともに、楽しんでおられたように思います。

そんな中、「はじめのあいさつ」として北代さん（障害者就労・生活支援センターあくと支援員）と横山さん（明石ピアポの会メンバー）がお話ししてくれました。掛け合いに場が和んだところで、いよいよ第1部のスタート！



第1部は「誰でもできる!!」お抹茶体験と題して、増澤さん（Small Steps なゆた支援員）が、スライドを用いて抹茶の基礎知識から点て方までお話してくれました。みなさん興味津々の表情で、メモを取っておられる方までいらっしゃいました。

そして、いよいよ実際に「抹茶体験」へ。2グループに分かれ、ペアの方へ抹茶を振舞います。みなさん、点てたものを相手に飲んで



もらうため、真剣そのもの。点ててもらう側も姿勢が良くなり、いただいた後には、自然に「けっこうなお手前でした」という言葉が出ていました。お互いに抹茶の感想を言い合ったり、上手に点てた方の抹茶を見たり、好みの器について話したり…お供の和菓子もいただきながら話しが弾みました。

第2部「しゃべり場」では、お抹茶体験の和やかな雰囲気のまま別会場に移動後、3つのテーブルに分かれてのおしゃべり。「余暇の過ごし方」や「これからチャレンジしたいこと」などのテーマについて自由にお話ししました。最後に、グループから2名代表を選び、話し合ったことを全体に共有していただきました。音楽、絵を描く、ショッピング、読書、旅行、スポーツ、ゲーム…などなど多様な余暇の過ごし方を聞くことができ、ご自身のレポーターが増えた方もいらっしゃったのではないのでしょうか。また、いろいろな方から「これからチャレンジしたいこと」を聞いたり、自分も



「実は…」と話してみることで、モチベーションが高まった様子でした。テーマ以外でも、仕事上で困ったことや悩みごとなどの話も出ていました。話が尽きないまま時間となり終了しましたが、当事者同士でお話ししたり、繋がることのできる場の必要性を改めて感じました。

今回のつどいでも、企画の段階から当事者の3名が参加、いろいろなアイデアを出してください、当日もスタッフとして活躍していただきました。ありがとうございました。

アンケートでも、複数の方が、今後スタッフとして関わることを希望すると回答されていました。今後の「はたらくなかまのつどい」の運営方法や方向性を改めて考える結果となったように思います。
(文責 明石市立発達支援センター 石井)

アンケート結果（回収 17）

○今日は良いことがありましたか。

たくさんあった 13 ちょっとあった 3 どちらでもない 1

○このようなイベントの開催はいつがいいか

平日 0 土日祝日 17

○「はたらくなかまのつどい」のスタッフとして参加希望

はい 9 いいえ 6 未記入 2

○感想意見 抜粋

- ・お茶を点てるのはかなり難しくてなかなか上手くできなかったですが、いろいろな所に行かれていての方の話を聞いて「そうなんだ」と思うことがあったので良かったです。
- ・いろんな人の意見が聞けてすごく参考になりました。今後「はたらくなかまのつどい」に参加したいです。
- ・良い息抜きができました。ありがとうございます。
- ・またはたらくなかまのつどいがあったらいいなと思いました。
- ・気持ちが楽になった。

活動の関するお問い合わせ先：明石市地域自立支援協議会しごと部会 事務局

明石市基幹相談支援センター（担当：南部・石田）

電話：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134 E-mail：t.nanbu@pure.ocn.ne.jp